

## 会議顛末書(要旨)

				記録者		三石 隆太郎				
供覧	会長	部長	次長	課長	補佐	係長	G員			
件名		令和6年度龍ヶ崎市地域公共交通協議会（第2回）								
年月日		令和6年5月13日（月）								
時間		午後3時30分から午後4時40分								
場所		龍ヶ崎市役所 5階 全員協議会室								
出席者		<p>【出席】17人（随行4名） 橋本委員、鹿内委員（代理：長谷川氏）、井上委員（代理：大山氏）、高草木委員、澤島委員、池田委員、北村委員、廣瀬委員（代理：白鳥氏）、中島委員、野澤委員（代理：岡野氏）、小菅委員、板谷委員、上野委員、小幡委員、落合委員、佐藤（昌）委員、佐藤（真）委員</p> <p>【事務局】 都市整備部 橘原次長、都市計画課 仲村課長、北島課長補佐、小山係長、仲村主幹、蛭原主幹、記録者</p> <p>【傍聴】2人</p>								
会議内容 【会議次第】		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 議事</li> <li>3. その他</li> <li>4. 閉会</li> </ol>								
内容  (主な意見)		<p>※ 別添資料に基づき本協議会を開催した。</p> <p>【事務局】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会 <ul style="list-style-type: none"> <li>○会議資料等の確認。</li> <li>○定数の過半数出席により、本会議が成立した旨を報告。 （龍ヶ崎市地域公共交通協議会条例第6条第2項）</li> <li>○本日の議事録署名人は、茨城県バス協会の澤島委員と関東鉄道労働組合の池田委員を指名。</li> </ul> </li> <li>2. 議事</li> </ol>								

**【板谷会長】**

会議次第に従い議事の進行をしてまいります。

それでは、議題（１）『地域公共交通の再編案について（令和７年４月）』でございます。事務局から説明をお願いします。

（１）地域公共交通の再編案について（令和７年４月）

**【事務局】**

○資料に基づき説明（別紙 地域公共交通の再編案について（令和７年４月））

**【板谷会長】**

ただいまの説明につきまして質問・意見等があれば、発言いただきたいと思えます。

**【上野委員】**

先ほどの説明の中で、市民活動センターを AI オンデマンド交通の乗降ポイントに追加するということが、コミュニティバスの停留所としては追加されないということでしたが、コミュニティバス循環ルートの停留所として追加するのは難しいのでしょうか。

**【事務局】**

今回、市民活動センターの追加としましては、AI オンデマンド交通の乗降ポイントとして整理をさせていただきました。

コミュニティバスですと、施設内に入ると都合上、運行時間がかかってしまうということが課題としてございます。さらに循環ルートは、大きな変更点として長山地区を新たに追加したこともあり、運行時間が長くなっているところでございます。

また、市民活動センターの施設内に入らない形として、例えば交差点近くに停留所を設置できないかということも検討しましたが、運行ルート上ですと、坂の上に位置する交差点の近くにもなり、安全性の確保ということで課題がありますので、今回 AI オンデマンド交通のみ追加ということで整理をさせていただいております。

**【上野委員】**

仮に検討されている AI オンデマンド交通が本格運行された時には、AI オンデマンド交通の実施エリア外の方が市民活動センターに公共交通を使っていく場合は、竜ヶ崎駅から AI オンデマンド交通を利用して市民活動センターに行くことは可能ということでしょうか。

**【事務局】**

AI オンデマンド交通の利用に関しては、運行地域にお住まいの方しか使えないというものではありませんので、上野委員のおっしゃられたような形でご利用いただくことは可能です。

【板谷会長】

本日事務局からご説明いただきました趣旨としましては、市議会全員協議会等でいただきましたご意見に応じて対応策を検討し、前回から変更がなされたところについて、事情を説明いただいたということでございます。

ご提案をいただいて、可能な限りご対応いただいた中においても対応できなかった部分としまして、AI オンデマンド交通の運行エリアを市内全域で実施して欲しいというところがございます。

基本的に交通弱者対策としては、乗合タクシー『龍タク』があります。また多くのご利用がある民間のバス路線と重複する形でAIオンデマンド交通を導入すること自体が、市公共交通全体の運行計画の中ではふさわしくないということで、市の東部地域を運行エリアとさせていただいたところですが、もう1つは、物理的に乗務員が確保できない可能性が高いといったところもあったと認識しております。

今回改めてAI オンデマンド交通に関して、交通事業者の皆様からご意見をいただければと思っておりますが、いかがでしょうか。

【廣瀬委員(代理:白鳥氏)】

路線バスを運行する民間事業者としましては、今回1番気になる点としましては、コミュニティバスの運賃100円という点につきまして、懸念を示させていただいております。

現在路線バスにつきましては、初乗り190円、昼間時間帯につきましては210円という割引運賃を設定しているところです。市から補助がでておりますが、賄えていないという状況の中で、100円という利用料金設定につきましては、我々の路線バスが一番近くを走っていること、さらに今回、龍ヶ崎市駅に乗り入れるということで、前回疑問を呈していると申し上げさせていただきました。

その中で、今回一部ルートの変更などをしていただきながら調整を図っていただいて、今回ご提案をいただいたという経緯がございますので、委員の皆様にはその点ご理解いただきたいと思っております。

実際、交通事業者の運転士不足というのは、全国で騒がれておりますので、委員の皆様はご存知かと思っておりますが、これにより、ニュータウン地区の路線バスにつきましては12月20日に減便をさせていただいております。市民の皆様には大変ご迷惑をおかけしているところでございます。

今回の減便につきましては、不採算路線を減便したわけではなく、あくまでも運転士不足への対応が原因でありますので、今後採用が進んで運転士が充足すれば当然戻したいと思っております。

是非とも皆様方をお願いしたいのは、赤字補填もしていただきたいのですが、事業者が一番困っているのは運転士不足です。当然コミュニティバス、AI オンデマンド交通にしても担い手がいないと運行できないわけがあります。やはり龍ヶ崎市内交通事業者の運転士をどのように増やして、どのように公共交通を確保していくという観点から是非ともこの地域公共交通協議会の場で議論していただく必要があるのではないかと思います。

【板谷会長】

やはり大きな問題としましては、運転士不足がございます。その状況に対応できる範囲で、市民生活にも最小限に留めるよう今回計画させていただいているということでございます。

このような背景事情等が市民の皆様十分に伝わっているかどうか、また委員の皆さん含めて、交通事業に関わっておられないとわからないところがあると思います。

運賃の件ですが、どの分野でも価格は上昇傾向にありまして、その中であえて下げて利便性を高めるという考えですので、この辺りはまず実施していただいて、うまくいかなければ、また柔軟に対応することが大事だと思います。

タクシー事業者として、AI オンデマンド交通に関して、何かご意見等ございますか。

【野澤委員(代理:岡野氏)】

AI オンデマンド交通の本格運行について、利用者としての視点では、非常に便利なシステムだと個人的には思います。

一方で、事業者の立場から申し上げますと、AI オンデマンド交通において医療機関を網羅される場合、当然タクシー事業者への影響というのはかなり大きいのではないかと思います。

先ほどもお話にありましたが、運転士不足について、前回小菅委員からお話があったとおり、当社でも運転士を募集しておりますが、なかなか集まらない状況です。

本日も本来であれば所長の野澤が出席するところではありますが、運転士不足の影響により代理で出席させていただいており、やはり運転士不足については、切実な問題であります。

【板谷会長】

先ほども申し上げましたが、運転士不足の問題については、広く問題認識していただかないといけないと感じました。

市民の一般的な移動については、自家用車を用いた移動が8割ぐらいを占めるような形になっていると思いますが、残り2割の皆さんの移動の足について確保をするというのは大切だと思います。

そういった意味では、今回の公共交通再編について、広く周知・広報が重要ですが、今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

それでは、大まかなスケジュールをご説明させていただきます。

今回の案をご承認いただきました際には、皆様に以前ご説明させていただきましたように、運賃に関することにつきましては、運賃協議会という別の部会を設定して、その中で協議していくというプロセスが必要になります。

また、運賃協議会で協議を進める前に、市広報紙や市公式ホームページなどで、地域住民の方、利用者の方、また利害関係者、事業者の方など

から、ご意見をいただきます。そういったスケジュールを踏まえますと、9月頃に運賃協議部会を開催していければと考えております。

その後、コミュニティバスやAIオンデマンド交通のリーフレットの中身も決まってまいりますので、年明け2月頃にリーフレットの配布などをしていきたいと考えております。

基本的には市民の皆様幅広く周知していかなければなりません。特に市東部地域に関しましては、コミュニティバスからAIオンデマンド交通というシステムに転換することにもなります。実証実験を実施した際も各地域のコミュニティセンターなどで開催した説明会も改めて開催させていただいて、アプリの登録や使い方などをご理解いただきまして、不安等を解消していきたいと考えております。

【板谷会長】

市民の皆様、利用者、潜在的な利用者に留まらず、しっかりと周知をお願いします。今回の地域公共交通につきましては、大きくネットワークが変わりますので、きちんと周知しないと混乱を招くような気がしております。

その他、質問、意見等ないようでしたら、議題(1)『地域公共交通の再編案について(令和7年4月)』につきまして承認したいと思います。よろしいでしょうか。

～異議なし～

【板谷会長】

異議なしとのことですので、議題(1)『地域公共交通の再編案について(令和7年4月)』は資料のとおり承認いたします。

続きまして、議題(2)『鉄道軌道安全輸送設備等整備事業計画(竜ヶ崎線)等の変更』について事務局から説明をお願いします。

(2) 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業計画(竜ヶ崎線)等の変更について

【関東鉄道株式会社 北村委員】

○資料に基づき説明(『別紙6 2024年度 関東鉄道竜ヶ崎線生活交通改善事業計画(鉄道軌道安全輸送設備等整備事業)』『別紙7 鉄道事業者の収支改善計画(関東鉄道竜ヶ崎線)』)

【板谷会長】

それではただいまの説明につきまして、質問、意見等ございましたらお願いします。

目標値と実績値を比較すると赤字額が多く、この部分をどのようにして埋めていくかということが課題になってきます。また運行に際しては、どうしても安全設備の投資が継続的に必要になってきますが、もし可能であれば、事務局からコメントをいただければと思います。

【事務局】

龍ヶ崎市地域公共交通計画でも鉄道事業者が行う安全性向上に資する設備の整備に要する経費に対し、補助金を交付していくと記載がありますので、引き続き関東鉄道株式会社様と調整しながら進めてまいりたいと考えております。

【板谷会長】

その他に質問、意見等ないようでしたら議題(2)『鉄道軌道安全輸送設備等整備事業計画(竜ヶ崎線)等の変更』について資料のとおり承認としてよろしいでしょうか。

～異議なし～

【板谷会長】

異議なしとのことですので、議題(2)『鉄道軌道安全輸送設備等整備事業計画(竜ヶ崎線)等の変更』について資料のとおり承認といたします。

それでは本日の議題はすべて終了いたしました。続きまして『3. その他』について事務局から説明よろしく申し上げます。

3. その他

【事務局】

○事務局からの連絡事項

- ・龍ヶ崎のるーと最終報告について
- ・中学3年生に対するリーフレットの配布(令和6年度)計画(案)について
- ・次回の協議会の日程  
6月で調整中  
正式には、改めてメール等にて通知

【板谷会長】

その他、委員の方から何かございましたらご発言お願いします。  
特になければ、本日の会議を閉会します。

4. 閉会

令和6年 月 日 議事録署名人

令和6年 月 日 議事録署名人